

イチゴうどんこ病の苗での越夏と育苗後期の薬剤防除による秋季の発病抑制					
[要約] <u>イチゴうどんこ病</u> は育苗後期に発生が抑制されるものの、葉裏に残る痕跡状の停止型標徴および無標徴の葉に生じた分生子により、新生展開葉への <u>伝染</u> を継続し秋季に再発生する。 <u>育苗後期に薬剤防除</u> を行うことで秋季の再発生を抑制できる。					
佐賀県農業試験研究センター 有機・環境農業部・病害虫農薬研究担当			連絡先	0952-45-8808 nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp	
部会名	野菜	専門	病害虫	対象	イチゴ

## [背景・ねらい]

イチゴうどんこ病は果実に発生し大きな被害を生じるため、効果的な防除対策の確立が求められている。本病は栽培期間を通じイチゴの株上で生活するとされるが、発生が少なくなる育苗後期の発生実態については不明な点が多く解明されていない。そこで、本圃での本病による被害を安定的に抑えるため、育苗期における本病の発生実態を調査するとともに、育苗後期の薬剤防除による秋季の発病抑制効果を明らかにする。

## [成果の内容・特徴]

1. 育苗期におけるイチゴうどんこ病の葉での標徴（葉の表面に生じる白色の菌体）は、分生子の形成程度により、白色粉状で分生子が多い進展型と進展型が変化した白色の痕跡状で分生子が少ない停止型に分けられる（図1）。
2. 育苗期の苗では、7月までは進展型の割合が高く発病程度も高まるが、気温が上昇し発生が抑制される8月には進展型の割合が減少し停止型が増加する。その後の9～10月は進展型が再び増加し発病程度が高まる（図2）。
3. 本病は進展型標徴が見られなくなる8月においても、停止型標徴および無標徴の葉に生じた分生子により上位葉への伝染を継続する。8～9月の育苗後期に上位葉に停止型標徴が多く認められる場合は、認められない場合に比べ秋季の再発生が早い（図3）。
4. 育苗後期の薬剤防除は、葉の感染、発病を抑制し秋季の再発生を抑制する（表1）。

## [成果の活用面・留意点]

1. 県内のイチゴ栽培圃場に適用できる。
2. 苗の感染、発病を抑えるには、親株床から薬剤防除を実施し子苗の感染を抑制する。
3. 葉かきを定期的実施し停止型標徴を生じた葉をできるだけ除去する。
4. 耐性菌による防除効果の低下を回避するため、育苗期の防除薬剤は耐性菌の発生リスクが低～中程度のもの（イオウフロアブル、サンヨール等）を利用する。また、イオウフロアブル、サンヨール以外の薬剤を利用する際は、薬剤が葉裏によく付着するよう拡張性（濡れ広がり）に優れた展着剤を加用する。
5. 育苗後期の気温が高い場合は、分生子の形成が抑制され秋季の初発生も遅くなる。

[ 具体的データ ]

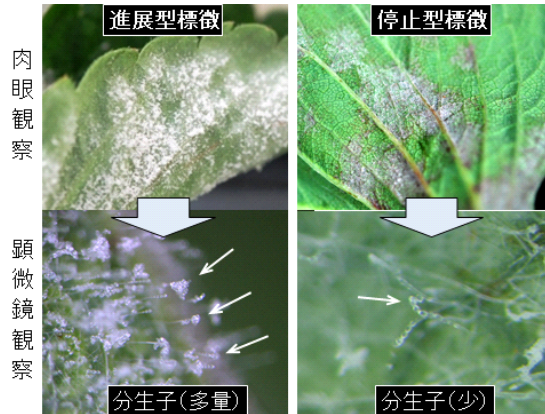


図1 イチゴうどんこ病の標徴の区分

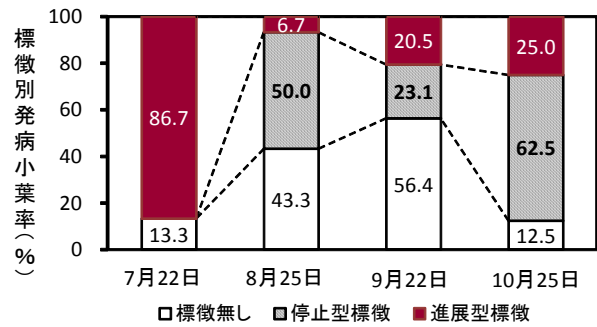


図2 イチゴうどんこ病の標徴型別発病小葉の発生推移(2011)  
注) 品種:「さがほのか」、露地育苗苗を調査。

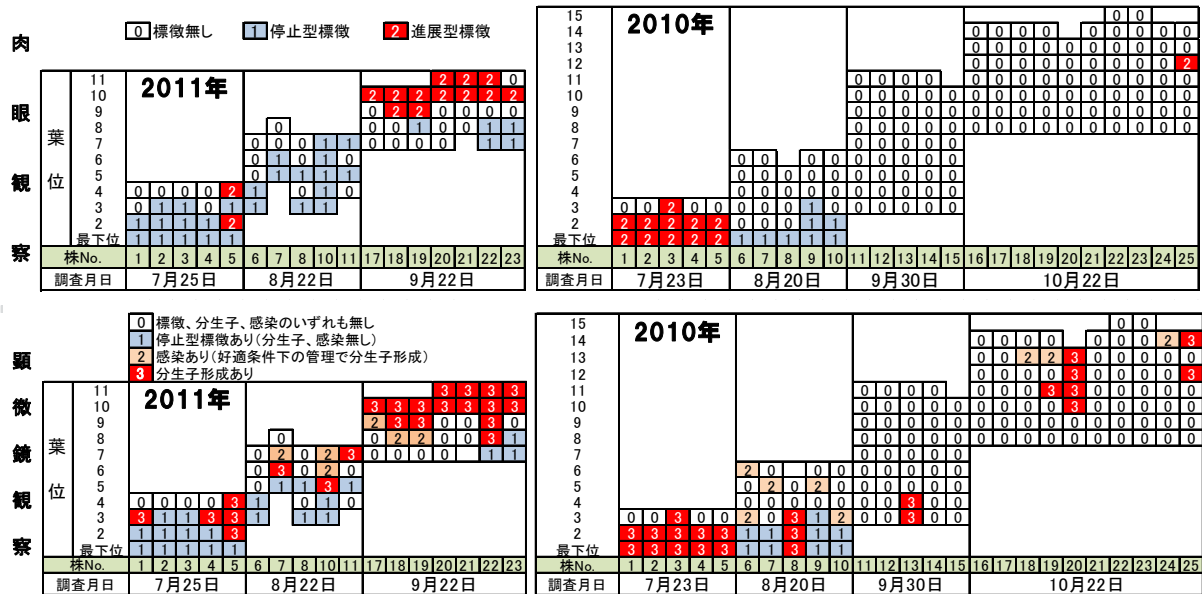


図3 育苗期の各葉位におけるイチゴうどんこ病の標徴および分生子形成の推移

注) 品種「さがほのか」、薬剤無防除で4~9枚葉に調製・管理した苗を供試。各年度の肉眼および顕微鏡観察において株No.および葉位が同じものは同一のものであることを示す。8~9月の平均気温は2010年が26.2℃、2011年が27.0℃(平年:25.5℃)であった。

表1 育苗後期の薬剤防除によるイチゴうどんこ病の秋季における発病抑制効果

散布間隔	進展型標徴による発病小葉率(%), ↓: 薬剤防除, (防除価)							
	8月17日	8月31日	9月6日	9月12日	9月21日	9月30日	10月9日	
10日間隔薬剤防除	DB ↓ 0.0	S ↓ 0.0	DB ↓ 0.0 (100)	0.0 (100)	MB ↓ 0.7 (95)	DB ↓ 0.5 (97)	0.5 (98)	
30日間隔薬剤防除	DB ↓ 0.0	0.5	0.5 (89)	9.0 (35)	MB ↓ 11.1 (24)	13.0 (26)	9.3 (68)	
無防除	0.0	1.4	2.3	13.9	14.6	17.6	29.2	

注) 供試株は2011年7月上旬に発病を確認し試験開始時に停止型標徴のみが認められるものを供試, 12株/区, 数値は2反復の平均値, S: イオウフロアブル1000倍, DB: サンヨール500倍, MB: ラリー水和剤4000倍。

[ その他 ]

研究課題名: イチゴうどんこ病の効果的防除技術の確立

予算区分: 国庫 (発生予察事業)

研究期間: 2011~2013年度

研究担当者: 稲田 稔